

会派視察・研修報告書

会派名 公 明 党

代表者名 寺島 芳枝

1 日 に ち	令和元年 8 月 2 日 (金) 3 日 (土)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	「議員 20 年の経験から語る基礎講座」講師：宮本正一 地 方 議 員 研 究 会 TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
3 参 加 者	片山 竜美
4 調査・研修の テーマ	・初当選議員向け特別セミナーⅠ・Ⅱ ・福祉担当部長が共感する認知症関連質問
5 主な内容	・初当選議員が失敗するポイント ・一般質問をはじめとするときにおさえておかなければならない要点 ・先輩議員に質問のことを聞いてはいけない理由 ・私の 20 年の経験からみる議員と職員のありかた ・他の議員を出し抜く議員活動のための情報のとり方 ・アルツハイマー病について、その取り組み ・介護保険制度について
6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】片山 竜美 ・一般質問の意義や作成の仕方を学び、6 月に行った初めての一般質問の反省点が見えてきた。この反省を次回に生かしたい。 ・興味ある分野から入り、その分野を深く勉強することで、苦手な分野も克服していくことができることを学んだ。興味あるからこそ、中途半端にせず、今以上に深く学んでいこうと思った。 ・議員の権限は強大であるからこそ、議員がしっかり勉強し、「市民のために」という視点にたって、使っていくことを決意した。 ・名前を覚えてもらうための広報活動について学んだ。「辻立ち」「市政報告会」「議会報告」などをもっと積極的に行いたい。 ・認知症対策のポイントは「予防」と「共生」である。とくに議員として「共生」のために何ができるかを考え、行動していかなければならないと強く感じた。
7 写 真 等 ※視察の場合は必須、研修の場合は任意	 